

# 関西新文化シンポジウム・ハルヒサマーフェス2013 実施報告

関西新文化振興会

## 目 次

目 次 .....	2
1. はじめに .....	3
2. 行事概要 .....	4
3. アンケート実施報告 .....	7

## 1. はじめに

---

関西新文化振興会共同代表（書記） 猪岡佳太

関西新文化振興会にとって、二度目の夏が過ぎ去っていきました。

去年は、関西新文化振興会による「展示企画」と「探訪ツアー」を行った「ハルヒサマーフェス2012」と、関西コンテンツツーリズム研究会による「調査報告会」というラインナップで、夙川学院の増谷記念館と2号館をお借りして行事を実施させて頂きました。

今年は、昨年出来なかったことをたくさん詰め込んだ宝箱のようなイベントにしたいと、夙川学院3号館において「展示企画・痛車展示」、「発表企画」、「同人誌即売会」、「探訪ツアー」、「コスプレ」を行う「ハルヒサマーフェス2013」を実施しました。さらに、新文化に関する研究者・関係者による発表とパネルディスカッションを行う「関西新文化シンポジウム」を併催しました。

本会としては、西宮の地で出来る限りの企画を行うという、目指していた点を1つ達成できたと思っています。ただ、実際に行っていくことで課題も増えてきたと思います。西宮の地にて、新文化ファンの皆さまで楽しむことのできるイベントの実施には、多くの方々のお力添えが必要であると感じましたし、関係諸氏・機関のご理解を欠かすことは出来ないとも感じております。

これから先の西宮での展開は、どのようになるのか未知数ですが、ひとりでも多くの方々のパワーによってより発展し、素晴らしいかたちで花開きますことをお祈り申し上げます。

そして、今回の経験を胸に留め、これからの関西新文化振興会の活動にできる限り反映させていき、よりよい会へと進化させていくことができればと思います。



## 2. 行事概要

### 1) 行事概要

今回、西宮での行事実施にあたり、同人誌、コスプレ、舞台探訪などの様々な表現方法や、それにより表現されるコンテンツを、「理論」と「実践」の二軸で楽しみ、ファン同士の交流を促し、そして深めていくことを基本コンセプトとし、2つのイベントを実施した。

1つは、各種のサブカルチャー関連実践を総合的に展開する行事の開催に合わせ、各種実践についての研究者・実践者を一同に集め、それら実践の関西地域における在り方や今後について討論していただく行事として「関西新文化シンポジウム」を平成25年8月24日に実施した。

もう1つは、聖地巡礼、コスプレ、同人誌など実践的企画を総合的に展開する行事として「ハルヒサマーフェス2013」を平成25年8月24日より2日間実施した。この行事名は、ファン視点で行事内容にそぐうものとして昨年考えられた「ハルヒサマーフェス2012」を引き継ぐかたちで、同じ団体が実施する実践的イベントであることを分かりやすく示すものとして用いた。行事の基本的な実施形態は、各企画への参加者を募り、行事組立の一部に企画参加というかたちで関わって頂くというものであった。そのため本会は、主に会場設定・設営、申込事務等を担っていった。

なお、8月25日の午前中、1時間雨量78ミリという西宮での観測史上最大の雨量を観測する雨が降り、一時大雨や洪水の警報が発令された。会場周辺では道路浸水が見られ、鉄道ではJR神戸線などが一時運休をするなど、交通関連に影響を及ぼした。この大雨により、後述するとおり今回の行事実施において、一部運用変更を行わざるを得なかった。

### 2) 実施概要

関西新文化シンポジウムは、全3部構成の発表部分と、5名のパネリストによるパネルディスカッションにより構成した行事として実施した。学生、大学関係者、作家など多彩な立場より、多彩なテーマでの報告を行った。なかでも西榮一氏、雑賀忠宏氏、谷村要氏、岡本健氏、本会書記の猪岡佳太による発表は、「関西とサブカルチャー」という大テーマを設け、それぞれ「いまいち萌えない娘の展開」、「マンガ論より展開する関西とサブカルチャーに関する総論」、「祭り」現象（オンラインコミュニケーションとオフ会）の実際と葛藤・克服、「メディアやコンテンツと観光の関係性」、「関西同人界の今と、同人誌制作や同人活動を行うことの意味検討」について発表頂いた。さらに、森田季節氏は「ライトノベル制作時の舞台設定について」と題し、ライトノベル作家へ行ったアンケートの結果をもとに、ライトノベルを制作する時の舞台設定について所感を述べられた。また、王リョクシヨウ氏は、21世紀における「オタク論」から「オマエラ論」・「オレラ論」の展開・構築可能性について述べられた。今回本行事において、一般の聴講者を受け入れ、できるだけ多彩な立場や発表ラインナップを揃えたことは、研究者とファンの垣根を少しでも低くすることを狙い、メディア/コンテンツに関する文化の研究のこれからが、より底の深いものとなればという願いと思いからである。

次に、今年のハルヒサマーフェスは、展示企画、発表企画、同人誌即売会、探訪ツアーを行い、探訪ツアーを除く企画への申込参加者に限りコスプレを可能とした。

展示企画は、会場施設の336教室を用いて行い、4団体が参加された。はんはる堂様は「中二病でも恋がしたい！」関連の京阪穴太駅レイアウト模型と、「涼宮ハルヒの憂鬱」関連の阪急甲陽線水道路踏切レイアウト模型を展示された。西宮北高文芸部有志様は、「北高生から見たハルヒ」というテーマを設けられ、北高とハルヒに関するパネル展示を実施された。甲山タイガース氏は、

「涼宮ハルヒ」関連のグッズをパネル展示したほか、「涼宮ハルヒ」ファンとの交流が大変深い喫茶店「珈琲屋ドリーム」のマスターを務めていらした細見研一氏がご逝去されたのを受け、スケッチブックを用意されての記帳を実施された。西宮流嶽は、昨年秋に実施されました「SOS 団 in 西宮に集合よ！」のアーカイブ展示を実施された。

展示企画に関わり、西宮聖巡会様による痛車展示の実施であったが、大雨のため午前中は撮影も難しい状況となった。また、痛車周辺で諸企画を実施の予定であったが、急遽教室使用の運用変更を行い、325 教室での企画実施となった。

発表企画は、338 視聴覚教室を用い、4 名の方による発表が行われた。鳴門冬扇氏は、『朝比奈ミクルの冒険 Episode00』に着目し、そのキャストの構造分析を行う発表をされた。本会会員のきーぼーは、「ファン有志制作の実写版『涼宮ハルヒの消失』の舞台裏」と題し、実際に実写版を公開し、その制作に関する裏話を発表された。本会書記である猪岡佳太は、「萌えのアーキテクチャと萌え要素の理解」と題し、「萌え」とはいかなるものであるかについて、前日のシンポジウムでの発表等を意識しつつ発表を行った。また、今回行事のスタッフとして多く参加した神戸夙川学院大学学生の有志による映像作品の公開も行った。

同人誌即売会は、会場施設の 337 教室を用いて行い、7 サークルが参加された。マンガ、小説、作品分析、聖地巡礼、コスプレ写真集など多彩な作品が一会場に集まった。有志による合同誌が発行されるなど、参加された皆さまの「涼宮ハルヒ」や同人活動に対する強い情熱を感じられる企画となった。

探訪ツアーは、午前 9 時すぎより劇場版「涼宮ハルヒの消失」に登場する「光陽園学院」のモデル校とされる夙川学院中学校・高等学校を起点に、「涼宮ハルヒ」シリーズに出てくる北高のモデルとされる西宮北高等学校の前まで赴く予定であったが、大雨が降ったことによりツアーは中止し、338 視聴覚教室にて「仮想探訪」を実施した。これは、スクリーンに探訪地の写真を写しだし、そこにツアー担当者が解説を入れるものである。

頒布・販売は 1 階総合受付にて行い、今回実施の 2 行事のパンフレットと、熱中症対策・水分補給の必要性の観点から飲料について行った。また、8 月 24 日には森田季節氏の『烈風の魔札使と召喚戦争』、そして西榮一氏関連の『小説いまいち萌えない娘』の販売も行った。なお今回行事では、キャラグッズ等の販売は行わなかった。

### 3) 行事実施に関わり

今回の 2 行事は先述の通り、同人誌、コスプレ、舞台探訪などの様々な表現方法や、それにより表現されるコンテンツを、「理論」と「実践」の二軸で楽しみ、ファン同士の交流を促し、そして深めていくことを基本コンセプトとして行った。昨年の行事が「当地在住の皆さまへ、なぜ舞台探訪者・聖地巡礼者が訪れているのかを、少しでも知ることができる機会を設定できればという思い・考えからである」と昨年実施報告で述べたことと比べれば、新文化ファン、とりわけ「涼宮ハルヒ」ファンの皆さまが楽しむことのできるイベントへの比重が高まった。

企画段階においては、会員が面白いと思った数多くの企画を盛り込むこととした。そして、ひとりでも多くの方が楽しむことのできる行事の実現に近付けようと考えた。一方で数多くの企画を盛り込むことは、実際に実施に向けて準備を進行させていくなかで、1 企画あたりに関わる時間が少なくなり、結果として一部参加者等よりご心配・ご配慮を賜わる結果となった。今後は実施する企画の精選や、広報・周知活動の増強を行うことにより、より多くの方にご参加頂き、新文化ファン間の交流の幅を広げていくことのできるよう改善を検討すべきであると考えている。

今回使用した会場は、夙川学院中学校・高等学校という現役で運営・使用されている施設を利用するものであった。総合受付を 1 階に、企画を行う部屋を 3 階にそれぞれ配置を行った。しか

し、動線が煩雑になった感があり、より動きやすく円滑な運用を実施できる動線確保を目指すべきであると考えている。

また会場の特性上、今回行事、特に同人誌即売会やコスプレについて、ルール・ガイドラインが他のイベントと比べれば大変多いものとなった。今回の行事にあたり示したルール・ガイドラインは、今回行事に関係するあらゆる人々が安心かつ安全に関わることができるようにするため、また今回使用する会場にふさわしい行事とすることを基本的な考え方として定めたものである。この点について、ご理解頂きにくいことがあったかと思われるが、決して参加者を貶めることや試すことを行うために定めたものではないことを、本稿読者へお伝えしたい。

さて、本会が現時点での重点活動対象を「涼宮ハルヒシリーズ」としているのは、平成 23 年に本会会長が、第 26 回日本観光研究学会全国大会で発表の報告及び論文「「涼宮ハルヒ・聖地巡礼」に関する現状調査報告」などを通して、西宮の地で「涼宮ハルヒ」に関して各方面の人々が足踏みをしてなかなか踏み出せないでいることを知り、そしてそのことが気にかかり、自身が「火を点ける役」になることを決心したことがそもそもの始まりである。そして、その点火という動きを行うことは、ひとりでは難しいと考え、西宮界隈で探訪活動を行っているきーぼー氏などと呼び集め、平成 24 年 1 月に設立したのが「関西新文化振興会」である。これまで 1 年 8 か月にわたり活動が続けてきたことにより、その役を担うことが出来たのではないかと考えている。これから先、ファンのファンによるファンのためのイベントを実施していくという発展期を迎えるにあたっては、より「涼宮ハルヒ」を知り、より「聖地・西宮」に関わり、そして西宮でのイベント開催について熱い情熱や考え・ビジョンを持たれている方が担われるべきだろう。西宮の地でイベントを開催することは本会の専売特許でも何でもないのであり、トライすることを拒まれる要素は何もないはずである。本会は、今後も関西の新文化振興に少しでも寄与できるファン活動を模索して参りたい。

今回行事は、毎日新聞様の取材を受け、「涼宮ハルヒ：聖地・西宮で草の根イベント 研究発表やコスプレも」と題した記事として、毎日新聞ウェブ版や毎日新聞デジタル(MANTANWEB)にてご紹介頂いております。また、神戸夙川学院大学様のウェブサイトでは、学生活動の報告としてご紹介頂いております。さらに、展示企画でご協力頂きました西宮流様のウェブサイトでも今回行事をご紹介頂いております。これらの他にも今回行事をご紹介頂きました方々を含め、深く感謝申し上げます。

最後となりましたが、今回の行事開催にあたり、多くの皆さまのご協力等を頂きました。厚く御礼申し上げます。

#### 4) 基礎情報

会場	夙川学院中学校・高等学校 3号館	
開催日時	平成 25 年 8 月 24 日(土)～平成 25 年 8 月 25 日(日)	
来場者数	8 月 24 日 約 50 人	8 月 25 日 約 100 人
	* 正確な計数は行っておらず、公式パンフレットの頒布状況等より見積もった数。	
当日スタッフ数(延べ)	27 人	
代表者	共同代表(会長): nonki	共同代表(書記): 猪岡佳太

### 3. アンケート実施報告

\*記述式回答は、回答されたまま掲載している。

回答数 n=56

#### 1. あなたのことをお教えてください。(1)~(4)まで、それぞれ該当するもの1つに✓を付けてください。

(1) 性別	<input type="checkbox"/> 男性	49
	<input type="checkbox"/> 女性	7
(2) 年齢	<input type="checkbox"/> 9歳以下	0
	<input type="checkbox"/> 10歳代	7
	<input type="checkbox"/> 20歳代	18
	<input type="checkbox"/> 30歳代	9
	<input type="checkbox"/> 40歳代	11
	<input type="checkbox"/> 50歳代	10
	<input type="checkbox"/> 60歳代以上	0
	<input type="checkbox"/> 無回答等	1
(3) 職業	<input type="checkbox"/> 小・中学生	0
	<input type="checkbox"/> 高校生・大学受験生	6
	<input type="checkbox"/> 大学(院)・短大・専門学校生	11
	<input type="checkbox"/> 教員・研究員	4
	<input type="checkbox"/> 会社経営・役員	2
	<input type="checkbox"/> 自営業	2
	<input type="checkbox"/> 主婦(主夫)	2
	<input type="checkbox"/> 無職・定年退職	3
	<input type="checkbox"/> 会社員・公務員	20
	<input type="checkbox"/> 非正規社員	3
	<input type="checkbox"/> その他	1
	<input type="checkbox"/> 無回答等	2
(4) 住所	<input type="checkbox"/> 西宮市内	12
	<input type="checkbox"/> 兵庫県内	17
	<input type="checkbox"/> 兵庫県外	24
	<input type="checkbox"/> 日本国外	0
	<input type="checkbox"/> 無回答等	3

#### 2. 「関西新文化シンポジウム」・「ハルヒサマーフェス2013」の感想などをお教えてください。

(1) -① あなたが来場された日時はいつですか。【日付は、これを書かれている日】

<input type="checkbox"/> 8月24日	18
<input type="checkbox"/> 8月25日	30

□無回答等	8
<p>(1) ①-② 2日目(8月25日)来場の方にお聞きします。1日目(8月24日)にご来場されましたか。</p>	
□はい	10
□いいえ	23
□該当しない	18
□無回答等	5
<p>(2) イベント全体の満足度は何点(5点満点)ですか。</p>	
□満足	10
□ほぼ満足	26
□どちらでもない	9
□やや不満	4
□不満	0
□無回答等	7
<p>(3) 何を目的に来られましたか。【複数回答可】</p>	
□シンポジウム	22
□展示企画	31
□発表企画	19
□同人誌即売会	21
□探訪ツアー	4
□その他	2
□特になし	2
□無回答等	3
<p>(4) 何が一番良かったですか。【最も良かったもの1つだけ】</p>	
□シンポジウム	15
□展示企画	7
□発表企画	7
□同人誌即売会	9
□探訪ツアー	1
□その他	0
□特になし	2
□無回答等	15
<p>《具体的には?》</p>	
<p>【シンポジウム】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パネルディスカッション</li> <li>・ 西榮一さんの講演。どの大学の先生よりも本質をついている。さすがメジャーメディアに いるだけ視点が広い。フラット。深い。No.1</li> <li>・ 物語の受容体験について「受容・享受」という受け身ではなく、n次創作という能動的 行為として見るとき、どのような具体的な可能性があるかを知ることができたから。</li> </ul>	



【発表企画】

- ・ 実写版ハルヒ（キーボーさん）
- ・ 悪いとまでは言わないが、話をほぐして欲しかった。
- ・ 即売会とかぶる

(5) 何が一番悪かったですか。【最も悪かったもの1つだけ】

<input type="checkbox"/> シンポジウム	1
<input type="checkbox"/> 展示企画	2
<input type="checkbox"/> 発表企画	4
<input type="checkbox"/> 同人誌即売会	0
<input type="checkbox"/> 探訪ツアー	1
<input type="checkbox"/> その他	2
<input type="checkbox"/> 特になし	28
<input type="checkbox"/> 無回答等	18

《具体的には?》

【シンポジウム】

- ・ しょぼい、熱気ゼロ、お役所的、オカタイ人たち? (リアルタイムの会場中継をやって欲しかった)

【展示企画】

- ・ 展示数が少なすぎて見映えがしなかった
- ・ 悪いわけではないがショボすぎ

【発表企画】

- ・ 音響の問題、進行の問題

【探訪ツアー】

- ・ 事前申込制というのを知るのが遅くなった為、申し込み出来ず残念でした。募集期間についてももう少し強調をお願いしたいです。

【その他】

- ・ 全体的に遊び心の少ないイベントだなあと思いました
- ・ 観る側を意識した作品づくり(編集、脚本など)をもう少し工夫してください【集計注: 自主制作映像作品に対するご意見】

(6) 今後イベントとして行って欲しい企画や、聖地西宮での取組みとして何をすべきであると思いますか。

- ・ 西宮限定ハルヒグッズ企画などがあったら絶対欲しいです
- ・ 兵庫県を舞台とした映像作品の上映会
- ・ イベントのけい続、公式スタッフとの接点、町ぐるみでのとりくみ(予算的に)。
- ・ 今までのワクグミをこわしていくようなイベントを企画してください。
- ・ バスなどの公共交通の利用促進などを行い、南北のつながりを強めること。
- ・ また来年以降も続いてくれる事を、心から願っています。警報が出ていたので、開催されているか心配でしたが、無事行われてとても嬉しいです。
- ・ できるだけハルヒの映像に残った景色を残して行ってほしい
- ・ しおりラリー、参加しそこねたので次は参加したい。ガルパンでも大洗で地域とコラボした企画で似たかんじで地域のお店と協調できて良いと思う。

- ・ ハルヒ検定、メディア作品コンテスト（映像、イラスト、ダンスパフォーマンスなど）、講演会（作者は無理だと思いますが、角川の担当者によるハルヒ作品に関する講演）、ハルヒ研究の情報交換会
- ・ 北口駅前公園の再生。ハルヒモニュメントの各地設置。甲陽園駅での聖地探訪マップの配布。ケバくない北高制服の公認
- ・ 北高の開放
- ・ 西宮の美しい街とハルヒの相互アピール。秩序と“ファンのお祭り”の共存。一般の方に抵抗のない形で“聖地”を盛り上げる。現状の取り組みに強く賛同します。
- ・ 各地施設での同人イベントネットワークを利用した広報
- ・ 西宮北口の駅前の公園を復活
- ・ 引き続き、即売会等誕生日会もいいと思います
- ・ ロケーションの写真展示（仮想探訪ツアーを展示で見られるようにする）スタンプラリー（できれば）アクタジュンク堂でかつて配られたマップの再版 地域限定ポストカード、おみやげの販売 ストラップなど ハルヒラベル付ウィルキンソン炭酸水 展示兼即売会という形式でのサークル参加もあればと思います。
- ・ 正月に廣田神社で初もうでとか？ 今井知菜を呼んで来る？
- ・ シンポの進行。「人物」をすでに知っている人のみかたのしめるイベントになっている。学会、他の交流会みならうべき
- ・ シンポの発表が長い。テーマがない。ダレてしまう。関西、関西と言わなくてもすでに場所が関西なんだから、もっと自由なテーマでやれば？大きなオフ会、宿泊して夜通し語り合い（むかしのSF大会のような物）はどうでしょう 日本中からの参加者に関西はやっぱりおもしろいと思ってもらえるようなしかけ
- ・ 今回のシンポジウムの話題対象として全体的に男性向けコンテンツに偏っているように思いました。女性向けを議論に含めた内容にも興味があります。また、地方の対比としての東京（秋葉原、コミックマーケット）が話題に出てくる際に、実際の「東京」を見ずにイメージで語っている（秋葉原はオタク狩りがあって怖い、コミケが異様な暑さだった「らしい」など）点が気になりました。
- ・ 校内の部屋の「展示企画」などの貼紙が小さくてわかりにくかった。
- ・ うーんがんばっているのではないかと思いますイベント事体が堅すぎてびみょうかな？

3. このイベントが開催されることを何で知りましたか。【当てはまる項目すべてに ✓ を付けてください】

<input type="checkbox"/> 関西新文化振興会 ホームページ	23
<input type="checkbox"/> きーぼ一堂 ホームページ	17
<input type="checkbox"/> その他 ホームページ	3
<input type="checkbox"/> ツイッター	14
<input type="checkbox"/> その他ウェブ	1
<input type="checkbox"/> 関係者から聞いた	8
<input type="checkbox"/> チラシ	1
<input type="checkbox"/> そのほか	6
<input type="checkbox"/> 無回答等	3

## 4. 「涼宮ハルヒ」シリーズに関することをお教えてください。

(1) 作品とはどれくらいの関わりがありますか。 【当てはまる項目すべてに ✓ を付けてください】

<input type="checkbox"/> 原作文庫を読んだ	41
<input type="checkbox"/> マンガ版を読んだ	26
<input type="checkbox"/> TV アニメ放送1期を視聴	40
<input type="checkbox"/> TV アニメ放送2期を視聴	40
<input type="checkbox"/> 劇場版『消失』を映画館で観賞	32
<input type="checkbox"/> BD・DVD（レンタル含む）	33
<input type="checkbox"/> 有料放送・ネット動画配信	13
<input type="checkbox"/> 作品名を知っている程度である	2
<input type="checkbox"/> その他	2
<input type="checkbox"/> 無回答等	1

(2) 問(1)に1つ以上 ✓ を付けた方にお聞きします。作品の一番の魅力と思う部分はどこですか。

<input type="checkbox"/> ストーリー	19
<input type="checkbox"/> 作品の世界観	28
<input type="checkbox"/> キャラクタービジュアル	13
<input type="checkbox"/> キャラクター設定	12
<input type="checkbox"/> その他	5
<input type="checkbox"/> 無回答等	5

(3) あなたが一番好きな『涼宮ハルヒの憂鬱』（シリーズ）のキャラクターはいますか。

<input type="checkbox"/> いる	37
・ 長門有希	14
・ 涼宮ハルヒ	10
・ 朝比奈みくる	4
・ キョン	3
・ 古泉一樹	2
・ 朝倉涼子	2
・ 鶴屋さん	1
・ 国木田	1
<input type="checkbox"/> 特にいない	14
<input type="checkbox"/> 無回答等	5

(4) これまでに「涼宮ハルヒ」シリーズ作品の舞台を訪れたことはありますか。

<input type="checkbox"/> ある	40
・ 1回	13
・ 2~5回	15
・ 6~10回	3
・ 11~15回	1
・ 16回以上	3

・ 回数不明	5
□なし	12
□無回答等	4

(5)「涼宮ハルヒ」シリーズ中のうち、最も行ってみたい場所や舞台はどこですか。

場所/舞台	理由
西宮北高等学校 (校内)	一般には立ち入れない場所です
北高校舎内	校舎内が一番の舞台であるのに入れないから
北高	母校のため
北高校の校内	普通は入れないから
北高	物語の中心だから
北高内	一般では入れないため
北高	普通は入れないから
SOS 団部室	
北高校	物語の要。学校なので敬遠してしまいまだ行けてない。
北高の中	舞台のメインだから
西宮市立西宮北高校	なかなか中に入る機会がないので…
北高内	合法的に入る手段がないため (他はほぼ行った)
珈琲屋ドリーム	ハルヒファンが集う場所であるから
ドリーム	現状で、いつでも規制されることなく、いつでもいける聖地だから
ドリーム	聖地筆頭でしょ
喫茶ドリーム	小説の中で何度も出てくる場所だから (できれば、北高に行きたいが、それは無理なので)
孤島	バカンスとミステリーを体感したい (笑)
北高前の坂道から見下ろす街並み	作品を知らなくても魅力的。森林と住宅街、阪急沿線とか阪神沿線とかの違いを含みつつ、まるごと一まとまりに視界に入ってくる情報の厚みを感じる
夙川	春いったら本当に桜がきれいだったから
夏にセミをとばしたところ (エンドレスエイト)	2期のものとも美しいシーンの1つ
にしきた公園	やはり一番印象深く、もう行けない場所なので
西宮市立図書館	消失のエピローグの舞台、長門にとって大事な場所だから
甲南病院の屋上からのきれいな景色	普通にはいけないので
鶴屋山	鶴屋家の財力に圧倒されたい
色々	地元、母校、卒業生だ!
サイゼリア	
閉鎖空間	神人みたい (笑)
甲南病院	北高周辺は何度も行っているが、少し場所が遠く、数回しか行ったことが無いため。

(6) 今後の作品展開で出してほしい(出すべきと思う)西宮市内の場所やイベントはありますか。

ある 18

- ・ イノシシが大あばれ(?)とか(笑)
- ・ 福男をキョンと古泉が走る所を見たいです
- ・ 京アニスタッフとのコラボイベント 関学・芝生など
- ・ えびす神社の福男や甲子園球場
- ・ 山口町
- ・ 西宮えびす祭り 福男えらび
- ・ 浜側 香櫨園とか今津灯台とか西宮神社とか
- ・ ヨットハーバー
- ・ 西宮北口/芸術文化センター
- ・ 芦屋
- ・ 三宮のヲタクスポットかな?
- ・ 年男イベント
- ・ どこでも
- ・ アクタ、さくら夙川駅、新快速車内
- ・ 最近できたというのも有り、「西宮ガーデンズ」
- ・ 関学、上ヶ原騒動ぼっ発

特になし 21

無回答等 17

##### 5. コンテンツツーリズム(聖地巡礼/舞台探訪)に関することをお教えてください。

(1) 聖地巡礼/舞台探訪の経験はありますか。

はい 44

いいえ 11

無回答等 1

(2) 聖地巡礼/舞台探訪の経験がある方にお聞きします。これまでで最も好印象の場所(聖地/舞台)はありますか。ある場合、それはどこですか。その原典である作品名と、好印象の理由も教えてください。

ある 39

ない 0

無回答等 5

(3) (2)に対し、これまでで最も悪印象の場所(聖地/舞台)はありますか。ある場合、それはどこですか。その原典である作品名と、悪印象の理由も教えてください。

ある 7

ない 24

無回答等 13

## 関西新文化シンポジウム・ハルヒサマーフェス2013 実施報告

編	関西新文化振興会		
発行	2013年9月1日	頒布記号	KNPA0011
発行者	関西新文化振興会	頒価	関西新文化振興会が定める価格
編集代表	猪岡佳太	Web Site	<a href="http://knpa.info">http://knpa.info</a>
印刷	大阪市総合生涯学習センター印刷コーナー	Mail	<a href="mailto:kaicho@knpa.info">kaicho@knpa.info</a>